

回覧

令和 2 年(2020 年)度 第七回 定例役員会 2020 年 7 月 4 日(土)

～2020 年 7 月 3 日(金)作成～

< 館長報告 >

館長 土井 承夫(どいよしお)

早くも梅雨が明ける季節となりましたが、本格的な暑さの中で如何に「3密」を避けるか試行錯誤しております。コロナと共存する生活様式にはまだまだ戸惑いもありますが、身の安全は何物にも代えがたいと肝に銘じて過ごす今日この頃です。皆様には如何お過ごしでしょうか。

<公民館役員の異動について>

(1) 6 月 30 日付けで副館長の土井博文さんが副館長の職を辞任されました。理由は高齢のお母様の介護が日増しに厳しい状況になり現役で続けている今の仕事との両立が困難になった為。

(2) この状況を私の自宅に来られて 2 時間近く誠意をもって話して下さいました。館長としては十分過ぎるくらいの真摯なお話にも何も迷う事なく承諾のご返事を致しました。

(3) なお、土井博文さんには現在 15 班の班長と公民館建設推進委員を勤めて頂いておりますが、これらは最後まで任期を全うし、全力を尽くすと約束して下さいました。

<館長から>

館長の私自身も 5 年前に父母 2 人の介護を経験した事があります。その時、妻は仕事をしていたので日中は私が、夜は妻が中心に介護をしました。はっきり言って介護とは「24 時間営業」と同じで夜 1 時や 2 時に何度もうめき声を聴く度に家の中を妻と走り回った記憶があります。良くこちらが倒れなかったと不思議なくらいです。ですから、土井前副館長のお申し出は良く理解できましたし、迷うことなく辞表は受理させて頂きました。副館長の仕事は少ないと言われる方もおられますが、仕事と言うのは量の大小ではなくて責任の軽重です。同氏から頂いた引き継ぎの USB には土井副館長が見えないところでどれだけ公民館の為に貢献されて来たかを改めて心に刻むことが出来ました。土井博文さんの今までのご活躍とご苦勞に謹んで感謝の意を表したいと思います。

(4) 本件を執行部で検討した結果、副館長のポストは後任が決まるまで空席とし、館長代行が必要な場合には執行部・役員で臨機応変に対応する事になりました。そして後任選びは焦ることなくゆっくり構えて行う事としました。そ

の他の役員ポストに変更はありません。

<福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する本年 2020 年 11 月 30 日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。**(26-0770、携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。**

***令和 2年(2020年) 6月 30日 (火) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。**

(1) 寄付頂いた世帯数： 141 世帯 (全体の約 34.1 %)

(2) 寄附金の合計： 457 万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団) 25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 10 万円 (13 名) 5 万円 (10 名)、3 万円 (20 名)、2 万円 (13 名)、1 万円 (80 名) 他

(先月報告の数字と同じです)

<上井地区の公民館活動の今後の予定について>

上井地区公民館長会で決まった今後の予定は 6/16 付け回覧でお知らせしました。確認の意味で再度簡潔に記述します。

- (1) 9 月 6 日 (日) に予定している上井地区球技大会は各公民館からの参加人数の総数を集計した上で体育部会 (会長：長井貴徳 福庭東館長) が予定通り行うかどうかを判断する。倉吉市が定めているコロナ対策参加人数の上限は「選手、観客他全てを含めて 100 人以下である事」
- (2) 9 月に予定している同和町内学習会は中止。今年度の学習会は全て中止。
- (3) 9 月 26 日 (土) 予定のナイトハイクについては 8 月にやるかどうか決定する。河北小 5 年親子会の意向確認が必要。
- (4) 10 月 4 日 (日) に予定の敬老会は中止。参加人数が基準を超え「3 密」になるため。その代わり対象者全員に記念品 (東宝 / 味そう：1 千円の商品券) を贈呈する (市補助 900 円 + 自治公負担 100 円 / 1 千人)
- (5) 10 月予定の軟式野球リーグは開催する。
- (6) 10 月 7 日 (水)、8 日 (木) の町づくり視察研修 (新居浜市) は実施する。
- (7) 10 月 16 日 (金) 上井地区ゴルフ大会は参加者が 30 名程度であり、表彰式の形態を考慮した上で実施する。
- (8) 10 月 24 日 (土)、25 日 (日) に予定している「あげい祭り」は (7/10 実行委員会立ち上げ・8 月詳細決定) 次の要領により開催する。
*コロナ対策として飲食中止、芝生広場でのイベント・出店中止。

*雨天時でも3密回避の観点から屋内での集会・イベントは中止。

屋内での「作品展＋くじ引き」のみとする。但し、賞品予算を縮小し30万円を20万円とするが、本数を増やす。

- (9) 11月予定のラージボール卓球大会は体育館使用可否が未定なので9月に決定する。

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

出雲の守護、尼子経久(あまこつねひさ)の居城「月山富田城」(がっさんとだじょう)とこれを滅ぼした毛利元就(もうりもとない)の「三本の矢」の逸話について

県境をまたぐ移動自粛が緩和されたので近い内に行ってみたい所がある。それは島根県安来市広瀬町にある出雲の守護、尼子氏(姓は「あまこ」、のちに昭和30年代になってから地名を「あまご」と呼ぶようになった)の居城である月山富田城である。今から500年前の戦国時代、中国地方は西(周防くすおう)、長門くながと(今の山口県)の大内義興(おおうちよしおき)と北西部・出雲の尼子経久の二大戦国大名が勢力を占めていた。その二つに挟まれて安芸(あき・現在の広島県)の国主(こくしゅ・狭い地域の首長)に毛利氏があった。だから、毛利にとっては大内と尼子の間に挟まれこの二つとうまくやって行く事が生きていく条件であった。然し、尼子経久からの薫陶(くんとう)もあって毛利は元就(もとない)の時代に中国地方を制圧する事になる。

私は40代の前半に6年間会社のシンガポール支社に勤務した事は今までに何度もお知らせしてきたが、実はこの内の4年間を現在の山口県防府市にある毛利本家・毛利邸第18代当主である毛利元敦(もうりもとあつ)支社長に部下として仕えた。企業の社長の事をシンガポールではマネージング・ダイレクター(Managing Director、略してエムディー<MD>)と呼ぶ。本来であればとてもじゃないが簡単にお会いできる様な方ではないが、上司と部下の関係で4年間公私ともに毛利社長には大変お世話になりまた様々な事をお教え頂いた。

今回の公民館新築で申し上げて来た様に「必要な所には金を使え・・・“費用対効果”」の事やトップは大局の判断、すなわち収支決算書の一番右下の数字を常に頭に置いて事業が可能か否か判断せよ、大きくは間違わない」とか、それまで「儉約が美德」と思い込んで来た自分にとっては少々ショックにも近い方向転換であった。その一つの事例に毛利社長が赴任されて来た1年目にあつと言う間にオフィスのリノベーションを敢行されシンガポールの丸の内と言われるシェントンウェイ地区のオフィスビル12階にあった我が支社はお隣のイギリス海運会社のスタッフたちが見学に来る程の、個々人パーティションで仕切られた欧米型の立派なものに蘇った。「右下の数字」を常に把握しておられるのでそ

のリノベーションのコストが経営に悪影響を及ぼした事は全くなくむしろ現地スタッフを含めて従業員の士気は大いに上がった。

では、話は戦国時代に戻るが、結局、出雲の尼子は晴久（はるひさ）の時代に毛利に滅ぼされる。

毛利元就と言えば「三本の矢」の逸話が有名だが、この話は今の公民館役員の結束や勿論家族の在り方、役所、会社はじめあらゆる組織の人達の心構えに通じる話だと思う。

1997年（平成9年）のNHK大河ドラマ「毛利元就」に出てくるこの「三本の矢」のシーンで元就が3人の息子（長男・千代寿丸<隆元>、次男・松寿丸・しょうじゅまる<のちの吉川元春・きっかわもとはる>、三男・徳寿丸<のちの小早川隆景>）を正座させて語るののである。それは、次の日に長男・千代寿丸（ちよじゅまる）を大内家へ人質（ひとじち）として差し出す前夜であった。尼子に加担しない事を大内義興に示すために同家から強要されたのであった。

その中村橋之助扮（ふん）する元就が息子達に語った全文をノーカットでお届けします。今回も長文を読んで頂き有難うございました。

～徳寿丸、千代寿丸、松寿丸、あす千代寿丸が山口へ参る事になった。兄弟が離ればなれになり、いかなる苦難が待ち受けているかも知れぬ。あまりの苦しきにもはや負けてしまえば楽になれると思う事もあるかも知れぬ。

さような時には、この三本の矢を思い出すのじゃ。おのれには兄がおる、弟がおるといふ事を決して忘れてはならぬぞ。三人が心を一つにし、三人が三本の矢となり力を合わせるのじゃ。常に、常に三人でこの毛利を盛り立てる事を決して忘れてはならぬぞ。・・・・千代寿丸、父はのを、父は、千代寿丸を信じておるぞ～